

人文科学とコンピュータ研究会 30周年記念事業実施までの記録

鹿内菜穂

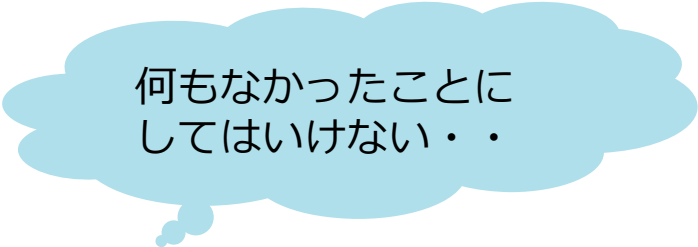
CH125 2月13日（土）企画セッション

本発表の概要

- 研究会30周年記念事業の発足
- 30周年記念事業の企画案の公募と検討
 - パネルディスカッション「じんもんこんの過去・現在・未来」が採択
 - 情報処理学会全国大会またはじんもんこんシンポジウムにおけるパネル実施に向けて、パネル準備会（準備パネルディスカッション）の開催
- パネル準備会の実施
- 情報処理学会創立60周年記念第82回全国大会においてイベント
 - 「はじめての人文情報学：情報処理技術で文化資料の分析に挑戦しよう！」を企画
 - 新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止
- 事業終了

本発表の経緯

- 研究会Webページに一部議事録と準備会記録
- 主査・幹事および30周年記念パネル実行委員会委員しかアクセスできない



何もなかったことに
してはいけない・・・



約5年間の内容を会員で共有し、今後の情報交換、企画の参考、次の記念事業の参考にして頂きたい

CH研究会30周年記念事業の発足

- 2015年CH106運営委員会にて30周年記念事業実施を決定
 - 準備委員会の立ち上げ
 - 会員に30周年記念事業企画案の募集

記念事業の企画案の公募と検討

1. 30周年記念事業の企画案の募集

- 応募者の情報，企画タイトル，企画概要，予算措置や実行組織，要望

2. 計4案の応募

3. 応募者に修正依頼，具体的な実施計画案の作成依頼

4. パネルディスカッション「じんもんこんの過去・現在・未来ーやりたかったこと、やれたこと、やれなかったこと、そしてこれからやるべきことー」（応募者：及川昭文）の採択

※ 情報処理学会論文誌特集号の企画と発刊

※ 30周年である2019年を待たずに、記念事業から独立して発刊の準備を進めることになった

※ 2018年2月に情報処理学会論文誌「人文科学とコンピュータ」特集を発刊した
(募集：2016年10月ー2017年5月)

実施計画案：パネルディスカッション「じんもんこんの過去・現在・未来－やりたかったこと、やれたこと、やれなかったこと、そしてこれからやるべきこと－」

- 2016年度（2016年5月）から2019年度にかけて、12回パネル準備会を行う
 - パネリスト候補者による発表
 - 次の10年に向けての目標について討論
 - その目標を実現するための戦略について討論
- 最終的に2019年度情報処理学会大会（2020年3月）または「じんもんこん2019」（2019年12月）においてパネルディスカッションの開催を目指す
- パネルディスカッションのねらい

「2015年において、人文科学とコンピュータ分野の発展を促進するための研究会としての課題の一つは、若手会員の獲得である。そのためには、①情報学と人文科学の発展に貢献する魅力ある研究成果をあげて発信すること、②人文科学とコンピュータ分野の研究成果と課題を広く展望すること、③研究分野の研究成果を大学生、大学院生、若手研究者に分かりやすく、インパクトの強い表現形式で紹介することが必要である。」

実施計画案の実施と実際

実施計画案の予定

- 2016年5月よりパネル準備会（全12回）開始

実際

- 2016年10月に討論すべきテーマを公募
 - テーマ3案の応募
- 2016年10月の第112回研究会において、パネル準備会の討論テーマを検討するセッションを開催
 - 参加者によるブレインストーミングの実施
- パネル準備会のテーマ決定
 - 第1回：「人文科学とコンピュータ」分野が一層発展するための課題は何か？
 - 第2回：情報技術の活用によって、人文科学の何が変わったのか？
 - 第3回：「人文科学とコンピュータ」分野における研究成果の発信方法
 - 第4回：「人文科学とコンピュータ」分野における資料の特徴①
 - 第5回：「人文科学とコンピュータ」分野における資料の特徴②
 - 第6回：「人文科学とコンピュータ」分野における研究プロセス①
 - 第7回：「人文科学とコンピュータ」分野における研究プロセス②

パネル準備会（準備パネルディスカッション）の開催

- 第1回パネル準備会
「『人文科学とコンピュータ』分野が一層発展するための課題は何か？」
- 第2回パネル準備会
「情報技術の活用によって、人文科学の何が変わったのか？」
- 第3回パネル準備会
「アイディアソン『人文情報学』の研究環境を考える」
- 第4回パネル準備会
「『人文科学とコンピュータ』分野における研究資源と情報技術を考える」

第1回パネル準備会

「『人文科学とコンピュータ』分野が一層発展するための課題は何か？」

- 第114回人文科学とコンピュータ研究会発表会（2017年5月13日・龍谷大学アバンティ響都ホール）内で開催
- 司会：川口洋　・ 座長：吉岡亮衛
- 話題提供とパネルディスカッション
 1. デジタルアーカイブの利活用を促進する情報検索技術の研究を通して感じた課題（未代誠仁）
 2. 人文情報学における共創型研究とオープンサイエンスの潮流（北本朝展）
 3. 人文科学と情報学の学際領域における課題（山田太造）
 4. 人文科学とコンピュータ分野発展への課題：「人材育成」「キャリアパス」「社会貢献」「記録メディア」（鹿内菜穂）
 5. 「人文科学とコンピュータ」の発展にむけた課題－境界を広げる基礎教育の必要性－（原正一郎）

第2回パネル準備会

「情報技術の活用によって人文科学の何が変わったのか？」

- 第115回人文科学とコンピュータ研究会発表会（2017年8月4日・東京大学史料編纂所）内で開催
- 座長：阪田真己子
- 話題提供とパネルディスカッション
 1. 国語学と情報技術（高田智和）
 2. 仏教学とコンピュータの30年（永崎研宣）
 3. 日本史学と情報技術－30年で変わったこと，変わらなかったこと－（後藤真）
 4. 考古学とコンピュータ－課題と展望－（及川昭文）
 5. 古典文献の計量分析の課題と「じんもんこん」の課題（村上征勝）

第3回パネル準備会

「アイディアソン『人文情報学』の研究環境を考える」

- 第117回人文科学とコンピュータ研究会発表会（2018年5月12日・東京電機大学北千住キャンパス）内で開催
- 当初のテーマ「『人文科学とコンピュータ』分野における研究成果の発信方法」から変更
- コーディネータ：関野樹・北本朝展
- 4グループに分かれてディスカッション
 1. キャリア：アカデミックポスト，学際性や多様性，ポストに必要なスキルなど
 2. 成果公開：評価（誰が評価するか，何を評価するか），公開の持続と研究資金の関係
 3. 研究資金：資金の環境の違い（工学系と人社系の違い／差），どこから資金を獲得／調達するか，資金の取り方（テクニック），資金の仕組みや執行法，資金獲得の目的（その資金が社会にどのように役立つか）
 4. 社会貢献：研究資金の問題，地域との連携のアイデア，（研究で）世界平和を目指すことが最大の社会貢献（であるという結論）
- 分野を越えた課題を共有できることが「人文科学とコンピュータ」の強みであると再確認

第4回パネル準備会

「『人文科学とコンピュータ』分野における研究資源と情報技術を考える」

- 第120回人文科学とコンピュータ研究会発表会（2019年5月11日・京都大学人文科学研究所）内で開催
- 当初のテーマ「『人文科学とコンピュータ』分野における資料の特徴①」から変更
- コーディネータ：後藤真・阪田真己子・松村敦・山田太造
- 話題提供
 1. 哲学・思想（永崎研宣）
 2. 言語・文字（高田智和）
 3. 歴史（後藤真）
 4. 文学（上阪彩香）
 5. 舞踊（阪田真己子）

第4回パネル準備会

「『人文科学とコンピュータ』分野における研究資源と情報技術を考える」 (続き)

- 5グループに分かれてディスカッション (ファシリテータ)
 1. LOD, semantic web, IIRFなどウェブ工学 (大向一輝)
 2. テキスト解析 (山田太造)
 3. 画像などマルチメディア解析 (未代誠仁)
 4. 可視化 (亀田堯宙)
 5. Motion Capture (阪田真己子)

情報処理学会全国大会におけるイベント

「はじめての人文情報学：情報処理技術で文化資料の分析に挑戦しよう！」

- パネルディスカッションからチュートリアルに変更
 - データセット，情報処理技術，成果発表の場，異分野との共同研究の実践などを紹介しながら，若手研究者が現在保有している情報処理技術を活かして，新たな研究分野に挑戦するために役立つ基礎的な情報を提供
- 司会：阪田真己子・松村敦
- 講演
 1. 活用可能な人文学のデータセット（後藤真）
 2. 人文学を支える情報処理技術（山田太造）
 3. 研究成果の発表：学術誌と国際会議の動向（永崎研宣）
 4. 異分野との共同実践（鹿内菜穂）
 5. 人文情報学が創る未来（北本朝展）

 イベント中止

おわりに

事業について

- 約5年かけて行ってきたこと全てが記念事業ではないか？
 - 各研究分野や研究手法，課題について知り，議論し，掘り下げられた
 - 人文科学とコンピュータ分野としての問題と課題も共有できた

論文誌特集号について

- 2018年2月号（2016年10月募集開始）より継続して特集号を企画・発刊
 - 「人文科学とコンピュータ」特集
 - 2018年2月号，2020年2月号，2022年2月号（予定）

本発表と報告論文について

- 今後の研究活動や研究会イベントの参考にして頂きたい

謝辞

- 人文科学とコンピュータ研究会30周年記念事業準備委員会
- 30周年記念パネル実行委員会
- 30周年記念事業の企画案募集に提案された先生方
- パネル準備会各回に話題提供を頂いた先生方
- 情報処理学会第82回全国大会イベントにご登壇予定だった先生方
- 情報処理学会論文誌「人文科学とコンピュータ」特集号編集委員会